

**授業概要**

パーソナリティが心理学でどのように取り扱われてきたか、その歴史をふまえた上で、パーソナリティについての基本的な知見を概説的に講義する。

類型論や特性論といったパーソナリティに関する諸理論、パーソナリティの測定法、知能といったパーソナリティと関連する概念、パーソナリティの発達について扱う。

**授業計画**

第1回	パーソナリティとは
第2回	パーソナリティ心理学の研究史
第3回	パーソナリティの諸理論(1): 学習理論
第4回	パーソナリティの諸理論(2): 類型論/特性論
第5回	パーソナリティの諸理論(3): 精神分析理論
第6回	パーソナリティ理解の方法
第7回	パーソナリティと知能
第8回	パーソナリティと自己認知
第9回	パーソナリティと他者認知
第10回	パーソナリティとステレオタイプ
第11回	パーソナリティと健康
第12回	パーソナリティの発達(1): 青年期まで
第13回	パーソナリティの発達(2): 成人期以降
第14回	パーソナリティの一貫性
第15回	まとめ
第16回	テスト

**到達目標**

パーソナリティについての基本的な知識を習得し、社会の中で使われているパーソナリティという概念の独自性について理解する。

**履修上の注意**

授業中は積極的な発言が望まれる。また授業の内容に応じて、小グループでの実験、質問紙調査の体験なども適時行う予定である。

**予習・復習**

講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考える。

**評価方法**

リアクションペーパーの内容(20%)、受講態度(10%)、テストの結果(70%)を合わせて、総合的に評価する。

**テキスト**

特に指定しない。

随時資料を配布し、参考文献はその都度紹介する。